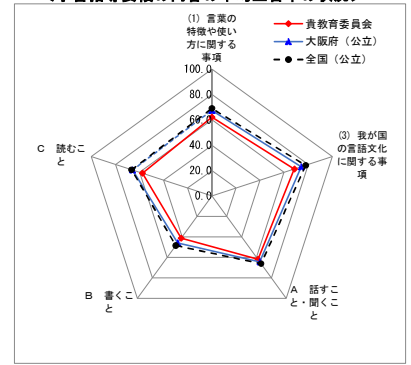


・以下の集計値／グラフは、4月19日に実施した調査の結果を集計した値である。

集計結果

対象児童数		阪南市教育委員会	大阪府（公立）	全国（公立）		
		409	66,566	965,308		
分類	区分	対象問題数（問）	平均正答率（%）			
			貴教育委員会	大阪府（公立）	全国（公立）	
全体		14	58	64	65.6	
学習指導要領の内容	知識及び技能	(1) 言葉の特徴や使い方にに関する事項	5	62.2	67.5	69.0
		(2) 情報の扱い方にに関する事項	0			
		(3) 我が国の言語文化に関する事項	1	68.5	74.2	77.9
	思考力、判断力、表現力等	A 話すこと・聞くこと	2	61.9	64.4	66.2
		B 書くこと	2	41.2	46.0	48.5
C 読むこと		4	57.5	65.9	66.6	
評価の観点	知識・技能	6	63.3	68.6	70.5	
	思考・判断・表現	8	54.5	60.5	62.0	
	主体的に学習に取り組む態度	0				
問題形式	選択式	8	64.9	70.4	71.8	
	短答式	3	56.3	61.7	63.6	
	記述式	3	42.5	49.4	51.3	

＜学習指導要領の内容の平均正答率の状況＞



※「学習指導要領の内容」と「評価の観点」については、一つの問題が複数の区分に該当する場合があります。それぞれの分類について各区分の問題数を合計した数は、実際の問題数とは一致しない場合があります。

問題別集計結果

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の内容			評価の観点	問題形式	正答率（%）			無解答率（%）					
			知識及び技能					選択式	短答式	記述式	貴教育委員会	大阪府（公立）	全国（公立）	貴教育委員会	大阪府（公立）	全国（公立）
			(1)	(2)	(3)											
1-1	【話し合いの様子の一部】における谷原さんの発言の理由として適切なものを選択する	話し言葉と書き言葉との違いを理解する	5-6 イ							80.7	84.0	85.5	1.7	0.9	0.9	
1-2	【話し合いの様子の一部】における谷原さんと中村さんの発言の理由として適切なものを選択する	言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることを捉える	5-6 ア							61.6	68.4	68.8	2.0	1.0	1.0	
1-3	【話し合いの様子の一部】で、中村さんが前田さんに質問し、知りたかったことの説明として適切なものを選択する	必要なことを質問し、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉える	3-4 エ							83.9	84.3	84.7	2.2	1.0	1.0	
1-4	「ごみ拾い」か「花植え」かのどちらかを選んで、 <input type="checkbox"/> どのように話すかを書く	互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、自分の考えをまとめる	5-6 オ							39.9	44.4	47.7	3.7	3.6	3.0	
2-1(1)	「ぼく」の気持ちの説明として適切なものを選択する	登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉える			3-4 イ					56.5	67.2	68.4	1.5	0.9	1.0	
2-1(2)	「老人」が未来の「ぼく」だと考えられるところとして適切なものを選択する	登場人物の相互関係について、描写を基に捉える			5-6 イ					62.8	70.2	70.6	3.2	1.6	1.6	
2-2	物語から伝わってくることを考え、【森田さんの文章】の <input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> に入る内容を書く	人物像や物語の全体像を具体的に想像する			5-6 エ					57.5	68.0	68.3	12.2	12.5	12.2	
2-3	【山村さんの文章】の <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> に入る内容として適切なものを選択する	表現の効果を考える			5-6 エ					53.1	58.1	59.2	6.4	3.1	3.2	
3-1	【文章2】の <input type="checkbox"/> の部分で、どのようなことに気を付けて書いたのか、適切なものを選択する	文章全体の構成や書き方などに着目して、文や文章を整える			5-6 オ					52.3	56.3	59.2	5.4	2.7	2.5	
3-2	【伝え合いの様子の一部】を基に、【文章2】のよさを書く	文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付ける			5-6 カ					30.1	35.8	37.7	16.9	15.3	14.5	
3-3ア	【文章2】の中の——部アを、漢字を使って書き直す（るくが）	学年別漢字配当表に示されている漢字を文中で正しく使う	5-6 エ							60.6	63.5	65.2	10.3	8.4	8.1	
3-3イ	【文章2】の中の——部イを、漢字を使って書き直す（はんせし）		5-6 エ							47.7	56.2	58.7	15.4	10.3	10.2	
3-3ウ	【文章2】の中の——部ウを、漢字を使って書き直す（したしむ）		5-6 エ							60.6	65.4	67.1	13.9	14.7	14.7	
3-4	（一）から（二）に書き直した際、気を付けた内容として適切なものを選択する	漢字や仮名の大きさ、配列に注意して書く			3-4 エ（イ）					68.5	74.2	77.9	9.0	6.2	5.9	

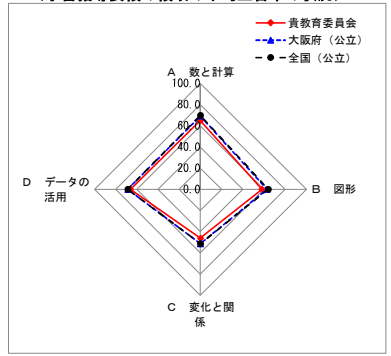
・以下の集計値／グラフは、4月19日に実施した調査の結果を集計した値である。

集計結果

対象児童数		阪南市教育委員会	大阪府（公立）	全国（公立）	
		409	66,586	965,431	
分類	区分	対象問題数（問）	平均正答率（%）		
			貴教育委員会	大阪府（公立）	全国（公立）
全体		16	58	63	63.2
学習指導要領の領域	A 数と計算	6	64.9	69.1	69.8
	B 図形	4	58.2	62.9	64.0
	C 測定	0			
	D データの活用	4	46.0	51.2	51.3
評価の観点	知識・技能	9	63.6	67.9	68.2
	思考・判断・表現	7	51.4	55.7	56.7
	主体的に学習に取り組む態度	0			
問題形式	選択式	6	48.0	51.3	51.8
	短答式	6	71.1	76.2	76.5
	記述式	4	54.3	59.0	60.2

※「学習指導要領の領域」と「評価の観点」については、一つの問題が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の問題数を合計した数は、実際の問題数とは一致しない場合がある。

＜学習指導要領の領域の平均正答率の状況＞



問題別集計結果

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域				評価の観点	問題形式	正答率（%）			無解答率（%）			
			A 数と計算	B 図形	C 測定 と関係	D データの活用			貴教育委員会	大阪府（公立）	全国（公立）	貴教育委員会	大阪府（公立）	全国（公立）	
1（1）	1050×4を計算する	被乗数に空白のある整数の乗法の計算をすることができる	3(1) 7(2) 3(3) 7(4) 4(7) 7(7)				○		○	89.7	92.3	92.4	0.5	0.4	0.3
1（2）	14と21の最小公倍数を求める	二つの数の最小公倍数を求めることができる	5(1) 7(4)				○		○	69.7	71.1	72.2	4.2	3.0	3.0
1（3）	カップケーキ7個分の値段を、1470÷3で求めることができるわけを書く	示された場面を解釈し、除法で求めることができる理由を記述できる	3(4) 4(7) 7(4)				○		○	69.2	73.8	76.0	5.9	5.6	5.2
1（4）	85×21の答えが1470より必ず大きくなることを判断するための数の処理の仕方を選ぶ	示された場面において、目的に合った数の処理の仕方を考察できる	4(2) 4(7)				○		○	27.1	34.8	34.8	1.5	0.9	0.9
2（1）	果汁が25%含まれている飲み物の量を基にしたときの、果汁の量を分数で表す	百分率で表された割合を分数で表すことができる	5(3) 7(4)				○		○	58.9	69.3	71.1	4.6	4.2	3.9
2（2）	果汁が40%含まれている飲み物の量が1000mLのときの、果汁の量を書く	百分率で表された割合と基準量から、比較量を求めることができる	5(3) 7(4)				○		○	62.1	66.4	64.6	3.9	3.3	3.3
2（3）	果汁が含まれている飲み物の量を半分にしたときの、果汁の割合について正しいものを選ぶ	示された場面のように、数量が変わっても割合は変わらないことを理解している	5(3) 7(7)				○		○	18.1	21.3	21.4	2.7	1.1	1.1
2（4）	果汁が30%含まれている飲み物に果汁が180mL入っているときの、飲み物の量の求め方と答えを書く	伴って変わる二つの数量が比例の関係にあることを用いて、未知の数量の求め方と答えを記述できる	5(1) 4(7)				○		○	45.0	47.7	48.0	5.1	5.4	5.5
3（1）	表のしりとり欄に入る数を求める式と答えを書く	表の意味を理解し、全体と部分の関係に着目して、ある項目に当たる数を求めることができる	4(6) 7(7)		3(1) 7(7)		○		○	72.6	76.0	75.3	3.7	2.2	2.1
3（2）	分類整理されたデータから、全員の希望が一つは通るように、遊びを選ぶ	分類整理されたデータを基に、目的に応じてデータの特徴を捉え考察できる	3(1) 4(7)				○		○	62.1	63.2	63.9	2.4	1.6	1.6
3（3）	1年生と6年生が希望する遊びの割合を調べるためのグラフを選び、そのグラフから割合が一番大きい遊びを選ぶ	目的に応じて円グラフを選択し、必要な情報を読み取ることができる	5(1) 7(7)				○		○	63.6	66.8	66.8	3.4	2.4	2.2
3（4）	1年生の希望をよりかなえるためのポイント数の求め方と答えを書く	加法と乗法の混合したポイント数の求め方を解釈し、ほかの場合のポイント数の求め方と答えを記述できる	4(6) 7(7) 4(7)				○		○	61.1	66.7	67.7	8.8	8.7	8.6
4（1）	示されたプログラムについて、正三角形をかくことができる正しいプログラムに書き直す	正三角形の意味や性質を基に、回転の大きさとしての角の大きさに着目し、正三角形の構成の仕方について考察し、記述できる	3(1) 7(7) 4(8) 7(7) 4(7)				○		○	41.8	47.9	48.8	6.1	4.1	3.8
4（2）	長方形のプログラムについて、向かい合う辺の長さを書く	図形を構成する要素に着目して、長方形の意味や性質、構成の仕方について理解している	2(1) 7(4)				○		○	73.8	81.7	83.2	5.9	5.1	4.7
4（3）	辺の長さや角の大きさに着目し、ひし形をかくことができるプログラムを選ぶ	図形を構成する要素に着目して、ひし形の意味や性質、構成の仕方について理解している	4(1) 7(4)				○		○	63.6	65.8	66.5	6.8	4.8	4.6
4（4）	示されたプログラムでかくことができる図形を選ぶ	示された作図の手順を基に、図形を構成する要素に着目し、平行四辺形であることを判断できる	4(1) 7(4) 4(7)				○		○	53.5	56.1	57.6	7.1	5.2	5.1

・以下の集計値／グラフは、4月19日に実施した調査の結果を集計した値である。

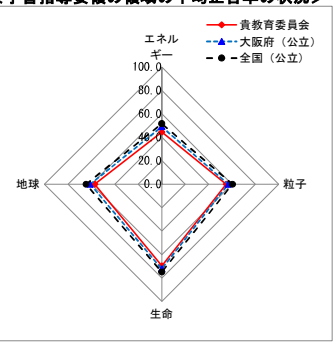
集計結果

対象児童数		阪南市教育委員会	大阪府（公立）	全国（公立）
		409	66,727	965,761

分類	区分	対象問題数（問）	平均正答率（%）		
			貴教育委員会	大阪府（公立）	全国（公立）
全体					
		17	58	60	63.3
学習指導要領の区分・領域	A区分	「エネルギー」を柱とする領域	44.5	49.0	51.6
		「粒子」を柱とする領域	55.2	56.8	60.4
		「生命」を柱とする領域	69.8	72.3	75.0
	B区分	「地球」を柱とする領域	57.1	61.0	64.6
評価の観点		知識・技能	58.0	59.5	62.5
		思考・判断・表現	57.4	60.9	63.7
		主体的に学習に取り組む態度	0	0	0
問題形式		選択式	62.1	64.5	66.8
		短答式	58.0	61.4	66.2
		記述式	40.5	44.3	47.3

＜学習指導要領の領域の平均正答率の状況＞



※「学習指導要領の領域」と「評価の観点」については、一つの問題が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の問題数を合計した数は、実際の問題数とは一致しない場合がある。

問題別集計結果

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の区分・領域		評価の観点	問題形式	正答率（%）			無解答率（%）		
			A区分	B区分			貴教育委員会	大阪府（公立）	全国（公立）	貴教育委員会	大阪府（公立）	全国（公立）
			「エネルギー」を柱とする領域	「粒子」を柱とする領域 「生命」を柱とする領域 「地球」を柱とする領域			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式
1 (1)	見いだされた問題を基に、観察の記録が誰のものであるかを選ぶ	問題を解決するために必要な観察の視点に基づき、問題を解決するまでの道筋を構想し、自分の考えをもつことができる		3B (1)7 (7) (4)※	○	○	89.7	91.1	92.9	0.2	0.2	0.2
1 (2)	自分の観察の記録と新たに追加された他者の観察の記録を基に、問題に対するまとめを見直して書く	自分で行った観察で収集した情報と追加された情報を基に、問題に対するまとめを検討して、改善し、自分の考えをもち、その内容を記述できる		3B (1)7 (7) (4)※	○	○	57.9	64.1	67.5	6.8	6.1	5.0
1 (3)	昆虫の体のつくりの特徴を基に、ナナホシテントウが昆虫であるかどうかを説明するための視点を選ぶ	昆虫の体のつくりを理解している		3B (1)7 (7) (4)※	○	○	73.1	71.4	73.1	0.5	0.3	0.3
1 (4)	資料を基に、カブトムシは育ち方と主な食べ物の特徴から二次元の表のどこに当てはまるのかを選ぶ	提示された情報を、複数の視点で分析して、解釈し、自分の考えをもつことができる		3B (1)7 (7) (4)※	○	○	68.9	73.4	76.1	0.7	0.7	0.7
1 (5)	育ち方と主な食べ物の二次元の表から気付いたことを基に、昆虫の食べ物に関する問題を見いだして選ぶ	観察などで得た結果を、他者の気付きの視点で分析して、解釈し、自分の考えをもつことができる		3B (1)7 (7) (4)※	○	○	59.4	61.6	65.5	1.5	1.7	1.4
2 (1)	一定量の液体の体積を適切にはかり取る器具の名称を書く	メスシリンダーという器具を理解している		4A (2)7 (7) (9)※	○	○	64.5	64.1	67.8	9.0	10.8	9.8
2 (2)	水50mLをはかり取る際に、メスシリンダーに入れた水の量を正しく読み取り、さらにスポイトで加える水の量を選ぶ	メスシリンダーの正しい扱い方を身に付けている		4A (2)7 (7) (9)※	○	○	72.4	69.6	70.0	1.0	0.7	0.6
2 (3)	水溶液の凍り方について、実験の結果を基に、それぞれの水溶液が凍る温度を見だし、問題に対するまとめを選ぶ	自分で発想した予想と、実験の結果を基に、問題に対するまとめを検討して、改善し、自分の考えをもつことができる		4A (2)7 (7) (9)※ 5A (1)7 (7) (9)※	○	○	56.0	60.0	62.8	1.7	1.1	1.0
2 (4)	凍った水溶液について、試してみたいことを基に、見いだされた問題を書く	自然の事物・現象から得た情報を、他者の気付きの視点で分析して、解釈し、自分の考えをもち、その内容を記述できる		4A (2)7 (7) (9)※ 5A (1)7 (7) (9)※	○	○	33.0	36.3	39.3	9.5	10.2	8.7
3 (1)	光の性質を基に、鏡を操作して、指定した的に反射させた日光を当てることができる人を選ぶ	日光は直進することを理解している		3A (2)7 (7) (9)※	○	○	24.4	26.1	27.8	1.2	0.6	0.6
3 (2)	実験の結果から、問題の解決に必要な情報が取り出しやすく整理された記録を選ぶ	問題に対するまとめを導き出すことができるように、実験の過程や得られた結果を適切に記録している		3A (2)7 (7) (9)※	○	○	63.6	71.5	74.4	2.0	1.5	1.3
3 (3)	鏡ではね返した日光の位置が変化していることを基に、継続して同じ条件で実験を行うために、実験の方法を見直し、新たに追加した手順を書く	自分で発想した実験の方法と、追加された情報を基に、実験の方法を検討して、改善し、自分の考えをもつことができる		3A (2)7 (7) (9)※ 3B (2)7 (7) (9)※	○	○	59.4	65.9	68.9	6.6	6.1	5.1
3 (4)	問題に対するまとめから、その根拠を実験の結果を基にして書く	実験で得た結果を、問題の視点で分析して、解釈し、自分の考えをもち、その内容を記述できる		3A (2)7 (7) (9)※	○	○	30.6	32.6	35.1	12.0	12.9	11.2
4 (1)	冬の天気と気温の変化を基に、問題に対するまとめを選ぶ	観察で得た結果を、問題の視点で分析して、解釈し、自分の考えをもつことができる		4B (4)7 (7) (9)※	○	○	76.3	80.2	82.3	2.4	1.2	1.0
4 (2)	夜の気温の変化について、他者の予想を基に、記録の結果を表したグラフを見通して選ぶ	予想が確かめられた場合に得られる結果を見通して、問題を解決するまでの道筋を構想し、自分の考えをもつことができる		4B (4)7 (7) (9)※	○	○	58.7	62.0	64.5	2.9	1.4	1.3
4 (3)	結果からいえることは、提示された結果のどこを分析したものなのかを選ぶ	観察などで得た結果を、結果からいえることの視点で分析して、解釈し、自分の考えをもつことができる		4B (4)7 (7) (9)※	○	○	41.1	43.0	45.5	7.3	7.8	6.5
4 (4)	鉄棒に付着していた水滴と水の粒は、何が変化したものかを書く	水是水蒸気になって空気中に含まれていることを理解している		4A (2)7 (7) (9)※ 4B (4)7 (7) (9)※	○	○	50.1	54.1	62.0	8.3	7.3	6.2

※本設問においては、思考力、判断力、表現力等を見るために用いる知識及び技能を示している。